

2008年12月7日 待降節第2主日

イザヤ 40:1-7 ペトロの手紙二 3:8-14 マルコによる福音書 1:1-8

★今週の聖句

「わたしよりも優れた方が、後から来られる。」

マルコによる福音書 1:7

★ねらい

- ①洗礼者ヨハネの役割について知る。
- ②イエスさまを迎える準備をすることができるようになること。

★説教作成のヒント

1. 洗礼者ヨハネが、主の到来に備えて人々の心（信仰）を整えるために来たことに注目する。
2. クリスマスを迎える準備はいろいろある。それらを一つ一つ丁寧にすることによって、心の準備もなされる。

★豆知識

「悔い改め」…心の向きを変えようという意味。この世に向かっている心を、神さまに向きかえること。
「わたしよりも優れた方」…もちろん、イエスさまのこと。
「履物のひもを解く」…当時奴隷の仕事だった。それを解く値打もないとは、イエスさまの為そうとされる（愛の）業の偉大さゆえ。

★説教

町の中がクリスマスを迎えるためにきれいに飾られていますね。町を歩いていると、木々にはイルミネーションがついたり、お店のウィンドウにはプレゼント用にきれいに飾られた箱が並んでいたり、クリスマスソングが聞こえてきたりもしますね。みなさんのお家でもクリスマスの準備をしましたか。「したよ」という人はどんな準備をしたのでしょうか。

クリスマスツリーを飾ったり、イルミネーションを取り付けたり、友達や家族のためにプレゼントを用意したり…少しずつそういう準備がされていると、また、それをする、気持ちもクリスマスに向くし、楽しくクリスマスを迎えられるですね。ですから、クリスマスの準備をすることは大切なことなのかもしれませんね。

今日の聖書の中には洗礼者ヨハネという人が出てきます。この人は、イエスさまが皆の前に現れることを告げ知らせ、イエスさまをお迎えする準備を人々にさせようとしたのです。

どんな準備をしたかという、人々が悔い改めるようにと洗礼を授けたのでした。悔い改めるとはどのようなことでしょうか。それは、いつもイエスさまを忘れずに心をイエスさまに向けることです。ヨハネの時代の人たちは、本当の救い主がどういう方なのかをまだ知りませんでした。ですから、辛いことや悲しいことがあっても、救い主イエスさまに励まされることがありませんでした。また、嬉しいことや楽しいことがあっても、イエスさまと一緒に喜んでくれているとは気が付きませんでした。けれど、このクリスマスにイエスさまは、わたしたちの心の深くまで降りてきて、言葉にできないほ

どの喜びも悲しみもともにして下さいます。それを知る時がクリスマスなのです。人々がイエスさまを心にお迎えする、ヨハネはそんな「心の準備」のために来たのですね。

今この時クリスマスを迎えるにあたって、わたしたちもそのような準備をしていきたいですね。どんなことができるでしょうか。

お祈りをしたり聖書を読んだり、お家や教会をきれいに飾ったり、クリスマスカードを書いたりすることで自然に救い主に心を向け、心の準備もなされていくことなのでしょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

48番

改訂版50番

やってみよ

クリスマスツリー作り～子ども達の手形を使って



材料 大きめの厚紙などしっかりした紙・緑色系の画用紙・リボン・オーナメントなど

作り方 厚紙で円錐形を作り、テープなどでしっかりとめ、ツリーの台紙にする。子どもたちは一人ずつ画用紙で手形を取って切り抜き、指の部分を下向きにして名前を書く。手形をもみの木の枝葉に見立てて、少しずつ重なるように台紙に貼っていく。

アレンジ *リボン・手近なクリスマスオーナメントなどで飾りつける。

*子どもがたくさん場合は片手ずつ。少ないようだったら両手を型取って切り、大人達も協力してにぎやかに!!

*一色でなく緑色のグラデーションにして何色か使うとまた違った雰囲気。

はなそう

あなたは、“罪悪感”を感じたことがありますか？それは、どんな時だったのでしょうか。つらいことかもしれませんけれど、少し思い出してみましよう。

罪悪感が残ったままだと、その後の生活になにか影響があると思いますか？考えてみましょう。そして、みんなで分かち合ってみましよう。

洗礼者ヨハネの授けていた悔い改めの洗礼は、人々の思いや、心の向きを、神さまの方に向かわせるためのものでした。罪の意識を持っていた人にとって、悔い改めの洗礼はどういうものに見えたのでしょうか？想像してみましよう。

2008年12月14日 待降節第3主日

イザヤ 61:1-4 テサロニケの信徒への手紙一 5:16-24 ヨハネによる福音書 1:19-28

★今週の聖句

「主の道をまっすぐにせよ」

ヨハネによる福音書 1:23

★ねらい

- ①ヨハネがイエスさまを迎える準備のためにきたことを確認する。
- ②わたしたちがどんな準備ができるのかを伝える。

★説教作成のヒント

1. ヨハネの洗礼の意味を子供たちと分かち合い、同じ準備をわたしたちもしたいことを伝えたい。ヨハネはイエス様の素晴らしさゆえにこの方を指し示した。

★豆知識

「メシア」…ヘブライ語で油注がれた者の意。ユダヤ人を救う救い主のこと。

「エリヤ」…ユダヤ人の信仰によれば、メシアの来る前に、エリヤがよみがえってその到来を予告するはずであった。

「あの預言者」…申命記 18:15 のモーセの言葉が受け継がれ、信じられていた。「あなたの神、主はあなたの中から、わたしのような預言者を立てられる。あなたたちは彼に聞き従わねばならない」。

★説教

先週は、ヨハネという人が人々にイエス様に来て、姿を見せるよ、ということを宣言していました。たぶん、皆さんがクリスマスを楽しみに待つように、人々も救い主がいよいよ来るんだ、という期待でわくわくしていたかもしれませんね。今週も、その続きのお話です。

ユダヤ人の中には、どこのだれかもわからないヨハネという人が好き勝手なことを言って人々を迷わそうとしているのではないかと疑う人もいました。だから、そういう人たちはまずヨハネが誰なのが気になって、こうヨハネに質問をしたのです。「あなたは、どなたですか」。ヨハネは質問にこう答えます。「わたしはメシアではありません。」メシアというのは救い主という意味です。本当の救い主はこれから来られるイエス様ですから、ヨハネはそうのように答えたのです。それに続けてヨハネは、自分がいつの日か来て救い主の来ることのしるしとされていたエリヤやほかの預言者でもないと言います。

では、ヨハネは誰で、ヨハネがしようとしていたことは何だったでしょう。先週も、お話がありましたね。それは、イエスさまが人々のもとへと降りてきてくれる、そのための準備とか備えをするようにと人々に伝えることでした。

ヨハネは水で洗礼を授けていました。ところで、人々にはどうして洗礼が必要だったのでしょうか。ちょっと考えてみましょう。それは、本当は神さまに感謝して正しいことをするように私たちは作ら

れているのに、実際は神さまを忘れて生活をしている自分勝手な心を赦してもらうためです。それが、人々のする準備でしたし、その準備のためにヨハネは来たのです。それが、主の道をまっすぐにする、ということなのです。

このとき、ユダヤの人々は、ローマ帝国という強い国に支配された苦しい生活や辛い出来事から解き放たれる世界を作ってくれることをメシアに期待していました。でも、ヨハネはメシアはそういう方ではなくて、一人ひとりの心に入って、一緒に喜び、一緒に泣いてくれる方だと知らせたかったのです。それは、どんな時もわたしたちとともに歩んでくれることですから、とても力がわいてきますね。それを知らせようと、人々に心の準備をさせるために洗礼を受けたのです。

わたしたちも同じです。神さまに心に向けたとき、イエス様が私たちの心に入ってきてくださって、本当にイエス様がわたしのためにきてくれたのだなあ、クリスマスがきたなあと感じることができるのではないのでしょうか。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

119番

改訂版114番

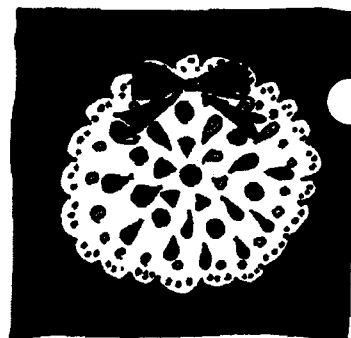
やってみよ

家族や友だち、遠くにいる大切な人に手作りカードを送ろう

材料 色画用紙・レースペーパーのコースター・リボン・色鉛筆など

作り方 色画用紙を好みの大きさに2つ折のカードにし、表紙の部分にコースターを貼る。心をこめてクリスマスメッセージを書く。

アレンジ コースターを貼る前にレースの穴の部分に好みのリボンを通す。レースペーパーに色鉛筆で色づけ。内側のメッセージ部分には別の紙を貼っても良い。



はなそう

“証”について考えてみましょう。

- ・例えば、“証明書”や“保証書”は、なんのためのものなのでしょうか？考えてみましょう。
- ・洗礼者ヨハネは、イエスさまについて証し、予告する、“声”でした。救い主イエスさまが現れる前に人々に心の準備をさせることが、なぜ必要だったのでしょうか。考えて、みんなで分かち合ってみましょう。

2008年12月21日 降誕祭

イザヤ 52：7-10 ヘブル人への手紙 1：1-9 ヨハネによる福音書 1：1-14

★今週の聖句

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」

ヨハネによる福音書 1：14

★ねらい

①イエス・キリストが人となって降ったことの喜びを伝えたい。

★説教作成のヒント

- 1.神さまが人になったとは、神さまの愛のみ心がこの世に成ったこと。
- 2.遠い神さまではなく、わたしたちと同じ人となることで、近い神さまとなった。

★豆知識

「言」…神さまご自身、神の意志、計画のこと。あるいは、神が人を救おうとする愛 と言い換えても良いかもしれない。

「肉」…人間のこと。つまり、14節では人となったイエス・キリストのこと。

★説教

みなさんの家では、夜、停電になったことがありますか？そういう時、突然、パッと電気が消えて何にも見えずに、真っ暗になってしまいます。外の風の音だけがゴーゴー響き、ちょっと怖い思いをしたという人もいるかもしれませんね。そんなとき、どうしますか？たいていは、懐中電灯を持ってきてそれをつけるのではないのでしょうか。するとどうでしょう。懐中電灯の光によって、部屋が明るくなり、周りの人の顔や周りがある物が見えるようになってわたしたちは安心します。その光がとてもありがたく嬉しいものにも思えます。

今日はクリスマスの礼拝です。イエスさまもこの世の光としてお生まれになりました。どうしてイエスさまが光なのでしょう？それは、人々に神さまからの平安と喜びとをもたらす救い主だからです。聖書にはイエスさまがお生まれになったことがどういう風に書いてあったのでしょうか？実は、こう書いてあったのです。「言（ことば）は肉となって、わたしたちの間に宿られた」。ちょっと難しいですね。言とか肉とはどういう意味でしょうか？言とは、日本語とか英語という意味ではないのです。神さまご自身のことです。肉はどういう意味でしょうか？豚肉とか牛肉のことではありませんね。人間のことを聖書では肉と言っているのです。

ですから、この聖書の言葉は、「神さまが人となって、わたしたちのもとへ来てくれた」という意味なのです。それがイエスさまです。

神さま、というところから遠くにいる方のような気がしてしまいますね。けれど、本当は神さまは、どんな時でも、これから先もずっとわたしたち一人一人を愛してくれる方です。それを人々に知らせるために、イエスさまがこの世にわたしたちと同じ人間として生まれてこられたのです。イエスさまは、わたしたちと同じようにお父さんやお母さんや家族と一緒に過ごし、家に住み、毎日食事をし、友達

や近所の人とかかわり、皆さんと同じように、勉強もしたことでしょう。そういう中で私たちと同じように喜び、悲しみ、時には苦しみを味わいながら生きていったのがイエスさまでした。

わたしたちを大切に思い、愛するがために、一人ひとりのことをご自分のことのようによく分かっていてくださろうとするのです。それほど愛があるからこそ、わたしたちの救い主なのです。

クリスマスは、皆さんの心にイエスさまの愛を迎えるときです。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□110番

□改訂版68番

やってみよ

クリスマス★デコレーションケーキ



材料 市販のカップケーキ(もちろん手作りでも)・ホイップクリーム・デコレーションの材料(チョコチップ・アラザン・カラースプレーなど)

作り方 カップケーキにクリームやそのほかの材料でデコレーションし、「可愛いケーキを作る。教会学校の時間に食べても良いし、祝会で教会のみんなにご馳走するのも良い。

アイデア *イエス様の誕生をお祝いして、ろうそくを立てて皆で炎を吹き消す。

*楊枝に紙やシール、型抜きのパunchなどを利用してクリスマスらしい飾りを作り、ケーキに刺してデコレーションする。

はなそう

□「言は肉となってわたしたちの間に宿られた」と、聖書にあります。神さまは、限られた人々のためではなく、“わたしたちの間”に、イエスさまを与えてくださいました。

「イエスさまは、(自分の名前)さんのためにお生まれになりました」

あなたは、これを聞いて、どんなことを感じましたか。みんなで、話してみましよう。

2008年12月28日 降誕後主日

イザヤ 62:1-5 コロサイの信徒への手紙 1:15-20 ヨハネによる福音書 2:1-11

★今週の聖句

「イエスは、この最初のしるしをガリラヤの
カナで行って、その栄光を現わされた。」

ヨハネによる福音書 2:11

★ねらい

- ① イエスさまの恵みの業が、わたしたちにももたらされる（もたらされている）ことを分かち合いたい。

★説教作成のヒント

1. イエスさまが来られて最初の業がカナの婚礼の出来事によって人々に現れた。それを受ける人々がわたしたちに重なることを分かち合いたい。

★豆知識

「メトレテス」…液体の容量の単位。約 39 リットル。

「ぶどう酒」…ユダヤ人の祝宴にはぶどう酒は不可欠なものであった。これが足りなくなることは、招く側には大変な不面目であった。マリアが心配しイエスさまに相談したのは、そのような事情を配慮したからであろう。

「ユダヤ人が清めに用いる石の水がめ」…ユダヤ教の祭儀律法によって食前、食事中に手を洗うことが規定されていた。この水がめに汲んだ水が良いぶどう酒に変わったという出来事は、形骸化したユダヤ教の律法という人間的な業に対するイエスさまの恵みの業の勝利を暗示する。

★説教

みなさんは、最近、どんな嬉しいことや楽しいことがありましたか？最近のことでいえば、クリスマスにもたくさん楽しいことがあったのではないのでしょうか。

その時のことを思い出してみてください。きっと、そういう楽しいことは皆さん一人だけでは起こらなかったのではないのでしょうか。例えば、クリスマスパーティーは一人ではできませんね。お友達や家族がいたからこそではないのでしょうか。

今日のお話は、イエスさまがユダヤの人々の結婚パーティーに招かれた時のお話でした。大勢の人が集まっておいしいお食事やぶどう酒を飲んだりして、楽しくおしゃべりをしながら結婚のお祝いをしていた様子が目に浮かびますね。

ところが、そんな喜びのパーティーの最中に困ったことが起こりました。ぶどう酒が足りなくなってしまったのです。ユダヤの結婚パーティーではみんながぶどう酒を飲むのを楽しみにしていましたから、もし、それがなくなってしまったらせっかくのパーティーも台無しです。

それに気づいたマリアという女の人（イエスさまのお母さん）がイエスさまに事情を話しました。す

ると、イエスさまは水がめにいっぱい水をいれ、味見のために召使たちに世話役のところへ運ばせました。するとどうでしょう。世話役が味見をしてみると、それは今までのぶどう酒よりも香りも味もずっと良い、最高のぶどう酒に変わっていたのです。

こうして、人々は何事もなかったかのようにパーティーを続けることができたのです。しかも、今までのものよりもずっとおいしいぶどう酒を飲むことができたのです。

イエスさまは人に良いものをもたらすために来られました。けれども、ちょうど、この結婚パーティーのお客さんが、イエスさまによってぶどう酒が備えられたことに気付かなかったように、わたしたちには当たり前なことばかりで普段はあまり気付くことがないかもしれません。

さつきみなさんに、最近、どんな嬉しいことや楽しいことがありましたか？と聞きましたね。それらは、一人の力でなったことではなくて、まわりの人を通してイエスさまが備えてくれた出来事と言えるのかもしれません。考えてみれば、今こうして教会へ来てお友達や先生と会えるのも、毎日楽しく幸せに暮らしているのも、一日に三回食べものをいただけるのも、体が生きているのも、一人で頑張るだけではできないことですね。イエスさまがぶどう酒を人々に気付かれないようにそっと用意して下さったように、わたしたちにもそっと恵みを備えてくれているのです。

★分級への展開

さんびしよう

*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

25番

改訂版69番

やってみよ

カナの婚礼の出来事にちなんで

水がぶどう酒に変えられたように、「私自身」がイエス様によって変えられることを考える。

高学年 「周りの人が喜ぶような『～な私』に成長させてください」の～の部分一人ひとりが考え、皆で分かち合い、祈る。

低学年 この1年であなたが変わったこと、成長した事を挙げてみよう。そして、これから迎える新しい年に、どんな風に成長したいのか、考えてみよう。

1枚の紙の裏と表両面を使って、書いてみよう。

例・表 新しい友達がたくさんできた。裏 元気にあいさつする。

幼児 小さな子ども達には楽しい『変化』のあそびを。

変身ゲーム

初めに変身役の子どもがみんなの前に立ち、体ごとゆっくり後ろ向きになり、また前を向く。見ている子供たちは、その姿を良く覚えておく。変身する子供は別の場所に隠れ、何

か変化をつけて再びみんなの前に登場する。子ども達は変わったところを言い当てる、というゲーム。

アイデア 変身役は1人または、2～3人も良い。また、変える箇所は複数でもOK。



変身前



変身後

「どこが変わったかなあ？」

はなそう

□カナでの婚礼の話は、神さまの恵みが私たちの求めることを超えて、それ以上のものであることを教えてくれています。あなたは、このような神さまの恵みを感じた経験がありますか？それぞれの体験について、分かち合ってみましょう。

または、CSスタッフや信徒さんや牧師さんから、経験を話していただいてもいいでしょう。